

## 東芝電磁調理器(ビルトインタイプ)



## 設置工事説明書

形名 BHP-M10

### 安全上のご注意

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。  
表示と意味は次のようになっています。

 <b>警告</b>	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

設置工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

この「安全上のご注意」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

#### **警告**

設置工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること。  
ご自分で設置工事され、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、設置工事説明書に従い、確実に行うこと。  
設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、機器の重量に十分耐える所に確実に行うこと。  
耐重量不足や取付が不完全な場合、機器の落下や転倒により、けがの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び設置工事説明書に従って施工し、必ず専用コンセントを使用すること。また、電圧は製品の定格電圧に合わせること。  
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。

設置工事部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用すること。  
使用しないと、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。

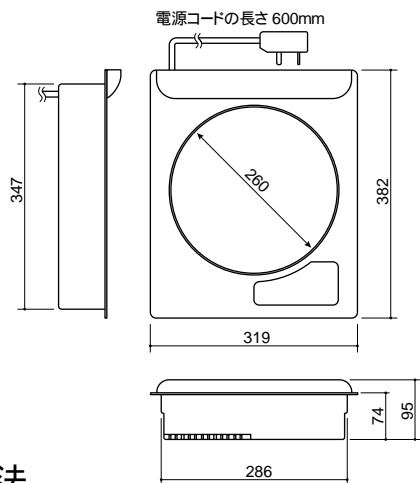
アースを必ず行うこと。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

#### **注意**

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないこと。  
万一ガスが漏れて機器の周囲に溜ると、発火の原因になることがあります。

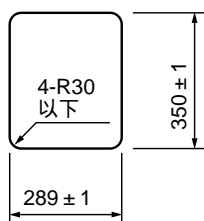
# 1.各部の寸法(単位mm)

本体

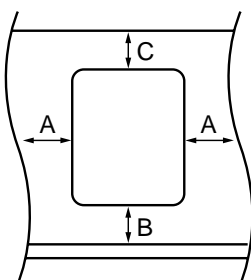


取付け穴寸法

抜き穴寸法



取付面の平面寸法

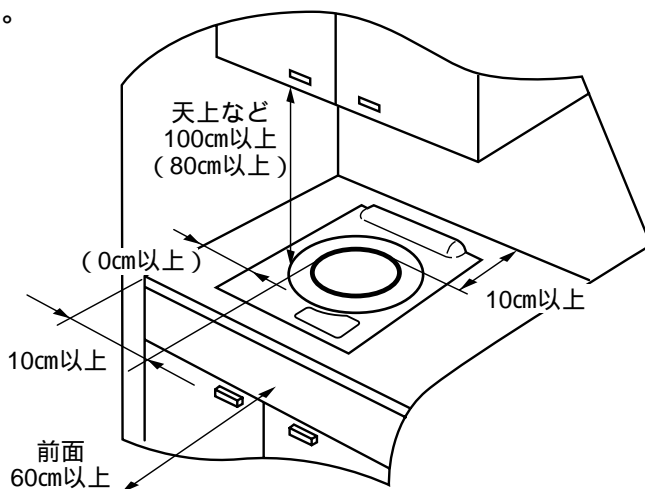


	平面寸法
A	20mm以上
B	20mm以上
C	40mm以上

## 2.設置場所について

### 1.設置場所

本機は加熱機器ですので、本機を設置する場所には、火災予防上、建築基準法や火災予防条例に定める防火処置を施してください。下記の例に従って設置してください。



( )内の寸法は不燃性の壁または、防熱板を取り付けた場合です。

設置場所として、次のようなところを選んでください

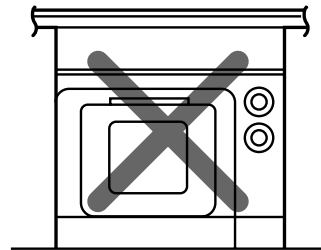
十分換気のできる場所

吸・排気が確実にできる場所

常時35℃以上の高温にならない場所

本機を設置する天板の下方へ、ガスオーブンその他の加熱機器を組込むことはお避けください

内部の温度が上昇しすぎると、安全装置が働いて本機の作動が停止したり、故障の原因になることがあります。



## 2. 電源

電源コンセントは、( 200V、20A以上 )のものを専用に設けてください。

位置は、電源コードの長さ( 0.6m )の範囲とし、修理時などに電源プラグが抜けるよう、配慮してください。

## 3. その他

製品の付属品が、システムキッチンの金属部と接触する場合は、建造物の壁中の金属( メタルラス等 )と、システムキッチンの金属部を接触しないようにするか、又、製品の金属部が、システムキッチンの金属部に接触しないように取り付けてください。

本体は水平になるよう据え付けてください。傾いていると鍋などが使用中にずれることがあります。

電源コードは、鋭利な突起物や高温物の近くは避けて取り付けてください。傷がついたり溶けることがあります。

### 3.電気工事

必ず電気工事士の免許をお持ちの方が行ってください

#### 専用回路と漏電しゃ断器の設置

電源はブレーカー付きの20A専用回路を設置してください。

万一のときの安全のために漏電しゃ断器を必ず設置してください。

D種接地工事を必ず行ってください。  
(コンセントの接地極に配線してください。)

#### コンセントの設置

コンセントを設置してください

推奨コンセント

品番:DC2042E( 東芝ライテック )

定格:单相250V・20A

( 2極 接地極付 )

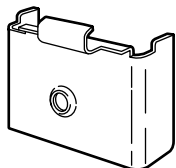


位置は、電源コードの長さ( 0.6m )の範囲とし、修理時などに電源プラグが抜けるようにしてください。

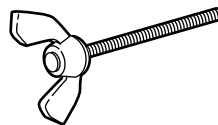
### 4.設置の前に確認すること

#### 付属品の確認

固定金具( 4個 )



蝶ボルト( 4個 )



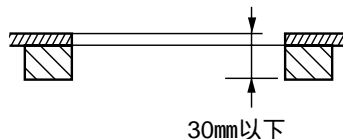
取扱説明書・保証書があることを確認してください。

#### ワークトップについて

( 十分な強度のワークトップを使ってください。 )

#### 薄板( ステンレスなど )の場合

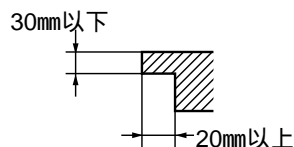
打ち抜き穴の場合裏打ちなどで補強してください。



#### 木材などの場合

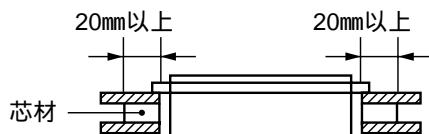
板厚30mm以下のものを使ってください。

板厚30mm以上の場合、本体取り付け穴の周囲を、30mm以下に加工してください。



#### フラッシュ構造( 中空構造 )の場合

必ず、本体を受ける位置に芯材がくるようにしてください。

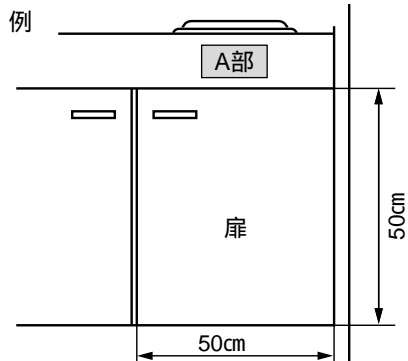


## 5. 設置についてのお願い

キッチンなどに組み込む場合は、本体裏面の吸気口に外気を取り入れるための開口が必要です。

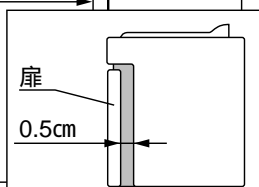
### 扉タイプの場合

100cm<sup>2</sup>以上の開口を確保してください。



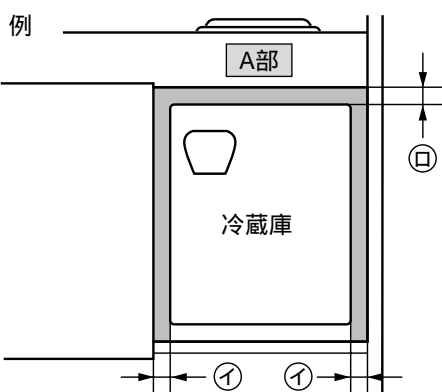
計算式

(50 × 0.5) × 4辺



上記開口が確保できない場合 **A部** に  
100cm<sup>2</sup>以上の開口穴を設けてください。  
(例: 5cm × 20cm)

### 冷蔵庫タイプの場合



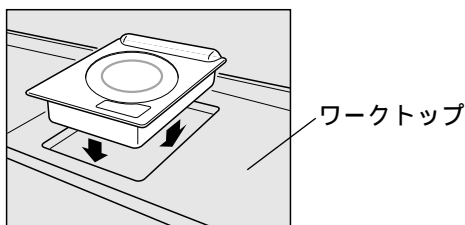
	寸 法
イ	1cm
ロ	1cm
本体裏面と冷蔵庫上面との寸法	5cm

### テーブルなどに組み込む場合

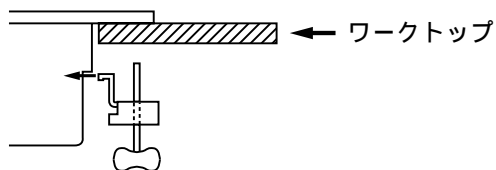
側面・底面がふさがれるようなテーブルに設置する場合は、100cm<sup>2</sup>以上の開口を確保してください。

## 6. 設置する

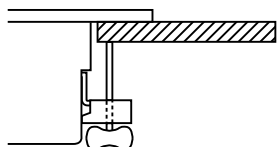
### 1. 本体をワークトップにはめ込む



### 2. 取り付け金具を本体にひっかける



### 3. 蝶ボルトをしめる



### 4. 電源プラグを差し込む

## 7. 設置完了後の確認

設置完了後、次の手順で確認をしてください。

### 確認項目

#### 付属品の 取り付け

固定金具( 4か所 )が、ガタつきなく固定されているか確認する

#### 外 観

トッププレート・枠が汚れていないことを確認する

パネルシート・注意シールに傷などのないことを確認する

#### 動作確認

1 電源電圧が200Vであることを必ず確認する

2 主電源キー「入」を押す( 1秒以上押す )

3 各キーを操作し、作動を確認する

水を入れたなべを置いて、湯を沸かす。  
水を入れないで加熱すると、なべ底が変形  
する恐れがありますので、空だきはしないで  
ください。

主電源ランプが  
点灯する。

しばらくすると、  
湯が沸く。

#### 完 了

1 主電源キー「切」を押して電源を切る

2 取扱説明書・設置工事説明書・保証書をお客様にお渡しする

株式会社 **東芝**

家電機器社 HAクリエーション部

〒105-8001

東京都港区芝浦1-1-1 ( 東芝ビルディング )